

令和3年度版

観光の実態と志向

第40回 国民の観光に関する動向調査



公益社団法人 日本観光振興協会
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION

1. 調査目的

国民の観光旅行の動向を明らかにし、諸施策を推進するための基礎資料の作成を目的とする。

2. 調査項目

- (1) 過去1年間(令和2年4月～令和3年3月：以下同様)の宿泊旅行の概要
- (2) 過去1年間の宿泊観光旅行
- (3) 今後の観光旅行の志向
- (4) その他

3. 調査の設計

- (1) 対象地域 全 国 (47都道府県)
- (2) 調査の対象 インターネットモニター
*母集団は、提携ネットモニター
- (3) 対象者条件 15歳以上の男女個人
*ただし、マスコミ・広告、新聞・放送業、市場調査の業種従事者は、調査関連業種として除外している。
- (4) 設計標本数 20,000
- (5) 標本抽出方法 都道府県別、性年代別人口構成比に準拠して割付(平成27年度国勢調査結果を使用)
- (6) 調査方法 インターネット調査
- (7) 調査時期 令和3年4月22日～5月6日

注1：第9回昭和55年調査までは満18歳以上の男女が調査の対象であったが、第10回昭和57年調査から満15歳以上と対象年齢を3歳下げた。第21回平成14年度調査からは対象者を全国民とした。また、第31回平成24年度調査からは、15歳以上のインターネットモニターを対象とした。

注2：第18回平成11年度調査までは対象時期が9月～8月であったが、第19回平成12年度調査からは4月～3月としている。なお、第31回平成24年度調査からインターネット調査とした。

4. 調査担当

株式会社サーベイリサーチセンター

5. 回収結果

有効回収数 20,000

6. 分類定義

地 域	北海道	北海道
	東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
	関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
	甲信越	新潟県、山梨県、長野県
	中部	富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県
	関西	三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
	中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
	四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
	九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
都 市 規 模	大都市	東京23区+政令指定都市
	中都市	人口10万人以上の都市
	小都市	人口10万人未満の都市
	町村	郡部・町村

7. 調査対象の特性

		(人数)		(%)	
全 体		20,000	100.0		
地 域	北 海 道	868	4.3		
	東 北	1,408	7.0		
	関 東	6,853	34.3		
	甲 信 越	816	4.1		
	中 部	2,541	12.7		
	関 西	3,540	17.7		
	中 国	1,149	5.7		
	四 国	594	3.0		
	九 州	2,231	11.2		
都 市 規 模	大 都 市	6,594	33.0		
	中 都 市	8,759	43.8		
	小 都 市	3,475	17.4		
	町 村	1,172	5.9		

7. 調査対象の特性(つづき)

全 体		(人数)	(%)
性別	男 性	9,910	49.6
	女 性	10,090	50.5
年 齢	15 ～ 17 歳	553	2.8
	18 ～ 19 歳	648	3.2
	20 ～ 24 歳	1,168	5.8
	25 ～ 29 歳	1,250	6.3
	30 ～ 34 歳	1,440	7.2
	35 ～ 39 歳	1,655	8.3
	40 ～ 49 歳	3,682	18.4
	50 ～ 59 歳	3,106	15.5
	60 ～ 69 歳	3,666	18.3
	70 歳 以 上	2,832	14.2
同居家族の人数	1 人 (あなたのみ)	3,560	17.8
	2 人	6,594	33.0
	3 人	4,968	24.8
	4 人	3,330	16.7
	5 人	1,091	5.5
	6 人 以 上	457	2.3
同居家族の形態	単 身 世 帯	3,560	17.8
	夫 婦 だ け の 世 帯	5,023	25.1
	夫 婦 と 親 の 世 帯	1,316	6.6
	夫 婦 と 子 ど も の 世 帯	7,410	37.1
	親 と 夫 婦 と 子 ど も の 世 帯	1,088	5.4
	そ の 他	1,603	8.0
世 帯 所 得	200 万 円 未 満	2,299	11.5
	400 万 円 未 満	4,279	21.4
	600 万 円 未 満	3,804	19.0
	800 万 円 未 満	2,520	12.6
	1000 万 円 未 満	1,498	7.5
	1500 万 円 未 満	1,105	5.5
	2000 万 円 未 満	235	1.2
	2000 万 円 以 上	122	0.6
		わからない・答えたくない	4,138

全 体		(人数)	(%)
未 既 婚	未 婚	7,330	36.7
	既 婚	10,942	54.7
	離 別 ・ 死 別	1,728	8.6
免許保有	持 っ て い る	15,585	77.9
	持 っ て い な い	4,415	22.1
職 業	農 林 漁 業	138	0.7
	自 営 の 商 工 業	926	4.6
	自 由 業	580	2.9
	管 理 職	925	4.6
	事 務 ・ 技 術 職	4,406	22.0
	労 務 ・ 技 能 職	2,843	14.2
	主 婦 ・ 主 夫	4,846	24.2
	学 生	1,510	7.6
	無 職	3,571	17.9
	そ の 他	255	1.3

< 「自営の商工業」「管理職」「事務・技術職」「労務・技能職」について >

全 体		(人数)	(%)
勤務先の休日数	8日以上(完全週休2日制)	8,212	69.2
	5日～7日(変則2日制)	2,472	20.8
	4日以下(変則1日制)	974	8.2
	そ の 他	206	1.7
週休曜日	決 ま っ て い る	8,107	68.3
	決 ま っ て い な い	3,757	31.7
有給休暇取得日数	5 日 以 下	2,039	17.2
	6 ～ 10 日	2,578	21.7
	11 ～ 15 日	1,387	11.7
	16 日 以 上	1,367	11.5
	有給休暇はとらなかった	1,265	10.7
	有給休暇はない	3,228	27.2

< 「就業形態」について >

全 体		(人数)	(%)
就 業 形 態	正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	6,751	33.8
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	3,213	16.1
	労働者派遣事務所の派遣社員	362	1.8
	契 約 社 員 ・ 嘱 託	858	4.3
	そ の 他	680	3.4
	無 職 (定年退職含む)	8,136	40.7

表 1. 過去 1 年間の実態 — 宿泊観光旅行

項 目	宿泊観光旅行の実態	
1) 参 加 率	29.2%	
2) 参加回数		
全体平均	0.68回	
参加者平均	2.33回	
3) 実 施 月	10月が 14.0%でピーク	
4) 目 的 地	県 内	22.4%
	県 外	76.9%
5) 出 発 した 日	平 日	40.0%
	土・日・祝	37.1%
6) 行 動 (複数回答)	①自然の風景をみる	54.5%
	②温泉浴	44.1%
	③名所・旧跡をみる	31.4%
7) 主 な 行 動	①温泉浴	26.1%
	②自然の風景をみる	17.0%
	③名所・旧跡をみる	11.5%
8) 同 行 者	①家族	57.3%
	②友人・知人	18.9%
	③自分ひとり	17.1%
9) 同 行 人 数	①2～3人	62.0%
	②1人	18.0%
	②4～5人	14.6%
10) 利 用 交 通 機 関 (複数回答)	①自家用車	54.9%
	②JR鉄道	30.7%
	③私鉄	13.7%
	④路線バス	10.9%
	⑤飛行機	10.7%
11) 宿 泊 施 設	①ホテル	62.2%
	②旅館	26.4%
12) 宿 泊 数	平均 1.50泊	
13) 旅 行 費 用		
総 費 用	46,320円	
宿 泊 費	21,900円 注) 旅行会社の募集団体	
交 通 費	11,070円 及び「職場、学校」	
土 産 の 費 用	5,530円 「地域宗教」の団体	
観 光 行 動 費	10,190円 を除く	

表 2. 過去 1 年間の宿泊旅行の実態

旅行の種類	参加率	参加回数 (全体平均)	参加回数 (参加者平均)
全体	37.0%	1.21回	3.27回
観光旅行	29.2%	0.68回	2.33回
出張などの商用	4.9%	0.20回	4.06回
帰省などの私用	8.4%	0.23回	2.80回
兼観光旅行	4.2%	0.10回	2.32回

表 3. 今後 1 年間の宿泊観光旅行の希望

1) 参加希望率	54.3%	
2) 参加希望回数	2.35回	
3) 希望季節	秋 32.0%、	夏 26.9%
4) 希望宿泊数	2.12泊	
5) 希望費用	総費用	44,710円
	1泊あたり宿泊費	11,190円
6) 希望する旅行の種類	①温泉を楽しむ	44.1%
	②食を楽しむ	25.1%
	③季節の花々を楽しむ	21.5%
	④寺社仏閣を楽しむ	20.8%
	⑤リゾートライフを楽しむ	20.7%

令和3年度調査結果のポイント

本調査は、全国の20,000人を対象に、令和2年度（令和2年4月～令和3年3月までの1年間）の国内旅行の実態と、今後の希望について調査を行ったものである。この調査は、昭和39年から継続して実施しており、国民の観光動向を55年以上のロングスパンで比較検証できる調査である。ただし、平成24年度調査（23年度の宿泊観光旅行実態を調査）より、訪問留置調査から現在のインターネット調査へと調査手法を変更したため、平成22年度以前と平成23年度以降のデータとでは単純に比較はできない。

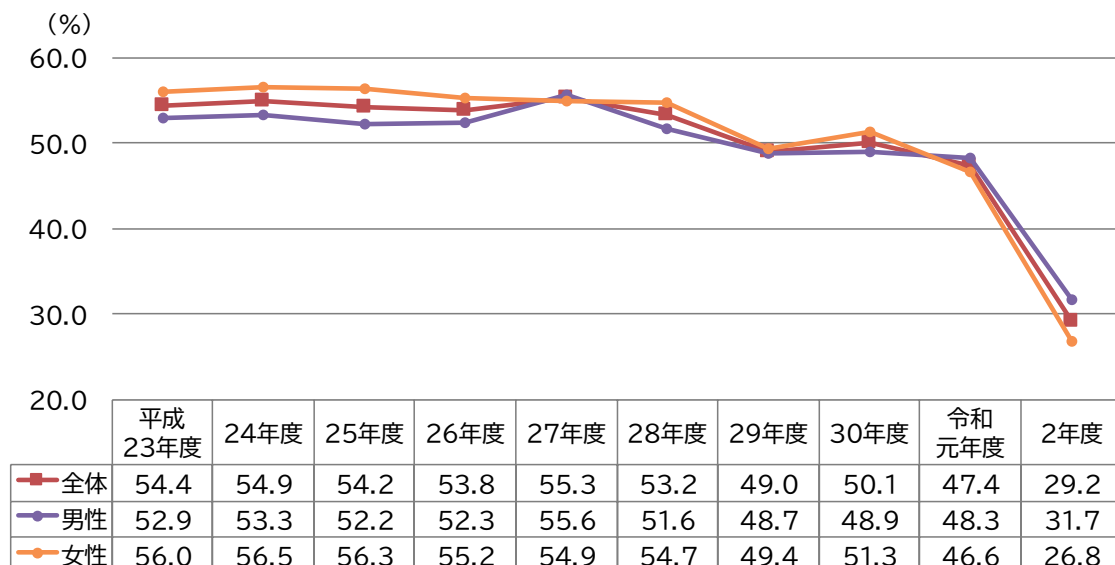
令和2年度の宿泊観光旅行は、昨年度の旅行実態よりも参加率が大きく減少しており、また参加希望についても減少している。この1年を通して実績・希望とともに新型コロナウイルス感染拡大の影響が現れたものと考えられる。

Data 1 宿泊観光旅行の参加率

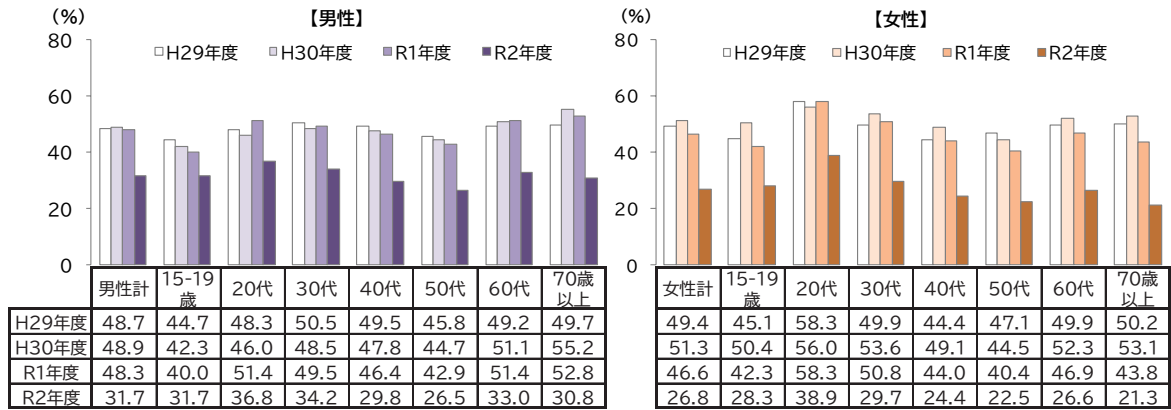
令和2年度における宿泊観光旅行への参加率は29.2%となり、昨年度に比べ18.2ポイントの大幅な減少となっている。宿泊観光旅行の参加率は、昨年度から低下していたが、今年度においてはさらに大きな減少となった。性別にみると、男性の参加率は昨年度に比べ16.6ポイント減の31.7%、女性の参加率は昨年度に比べ19.8ポイント減の26.8%であった。男性に比べて、女性の参加率の減少幅がより大きい。

性・年代別にみると、男女ともすべての年代で参加率が減少しており、70歳以上で減少幅が最も大きい。全体的に参加率が落ち込む中、20代においても大幅な減少となったものの、その参加率は男女とも35%以上と、他の年代に比べると高くなっている。

図表2-1: 宿泊観光旅行参加率の推移(全体/性別)



図表2-2: 宿泊観光旅行参加率の推移(性・年代別)

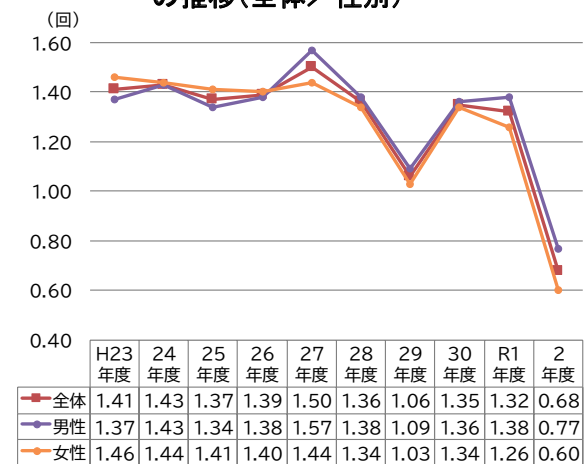


Data 2 宿泊観光旅行の回数

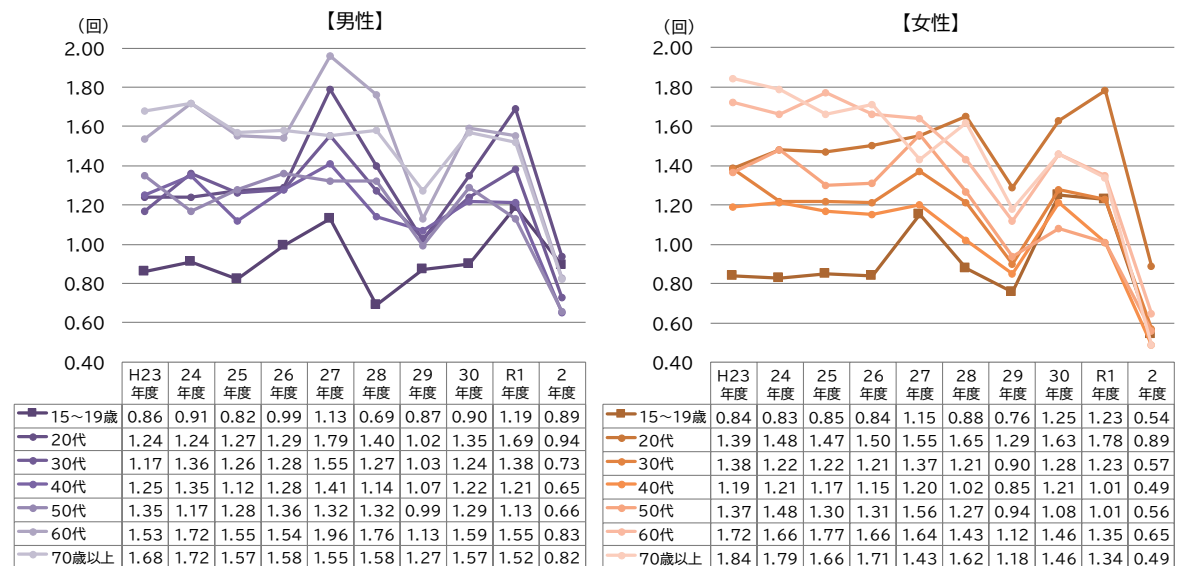
宿泊観光旅行への参加回数は全体で 0.68 回と昨年度に比べ大幅に減少し、平成 23 年度以降最も少ない。性別にみても男女ともに全体と同様、約 5 割減となっている。

性・年代別では男女とも全ての年代で昨年度から参加回数が大きく減少している。特に女性の 20 代と 70 歳以上での減少が顕著で、ともに 0.8 回以上減少している。

図表2-3: 宿泊観光旅行への参加回数(全体平均)の推移(全体/性別)



図表2-4: 宿泊観光旅行への参加回数(全体平均)の推移(性・年代別)

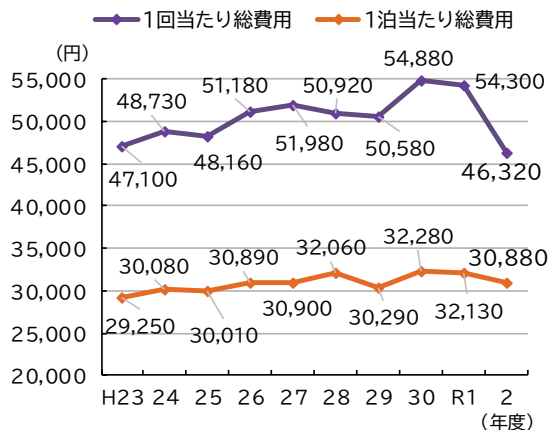


Data 3 旅行費用

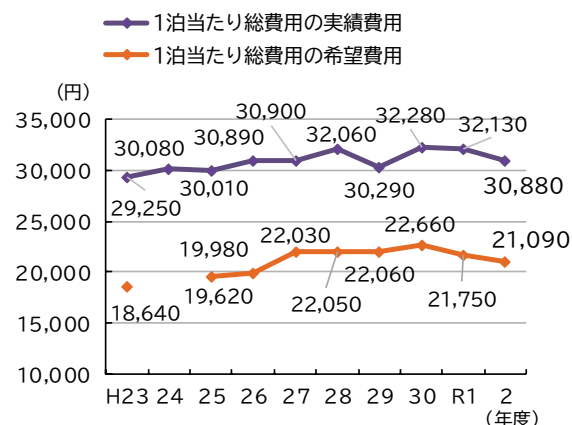
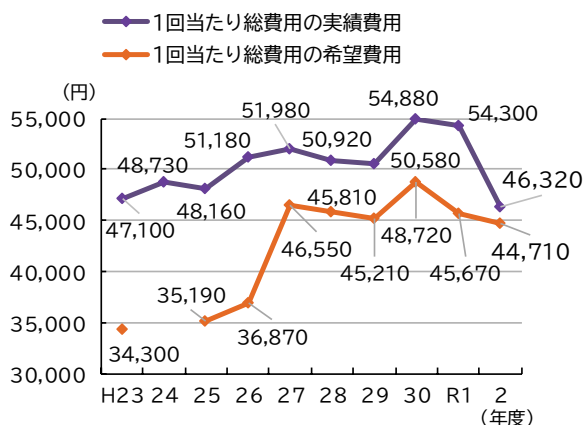
宿泊観光旅行における1回当たりの総費用は46,320円で、昨年度から7,980円の大幅な減少となっている。1泊当たりの総費用は30,880円で、昨年度より1,250円の減少である。

一方、希望費用では、1回当たりの総費用が44,710円と、昨年度から960円減少し、実績と希望の差が縮小した。1泊当たりの総費用は21,090円と、昨年度から660円の減少である。

図表2-5: 宿泊観光旅行の総費用の推移 (1回当たり/1泊当たり)



図表2-6: 宿泊観光旅行の総費用の推移 (1回当たり/1泊当たりの実績と希望)

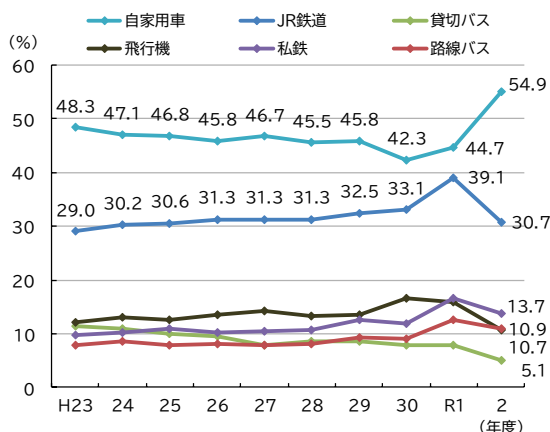


※平成25年度調査(平成24年度)の希望費用は、聴取方法を変更しているためデータの比較が難しく、掲載をしていない。

Data 4 交通手段

宿泊観光旅行における利用交通手段は、「自家用車」が54.9%で最も多く、次いで「JR鉄道」が30.7%、「私鉄」が13.7%と続く。昨年度と比較すると、「自家用車」が10.2ポイント増と大きく増加、一方「JR鉄道」は8.4ポイント減と大きく減少している。「自家用車」を除く全ての交通手段の利用率が昨年度より減少しており、交通手段でもコロナ禍の影響がみられる。

図表2-7: 宿泊観光旅行の利用交通手段の推移

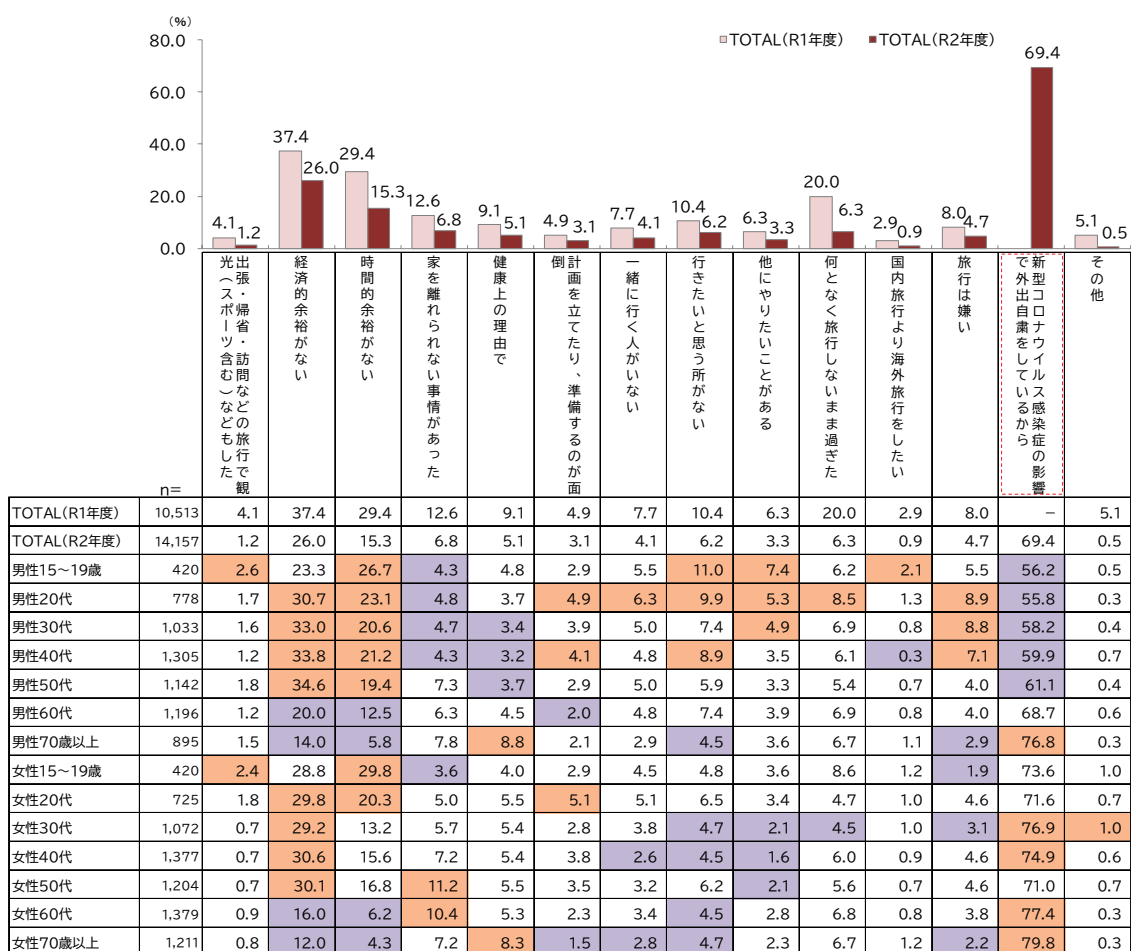


Data 5 宿泊観光旅行をしなかった理由

性・年代別に宿泊観光旅行をしなかった理由をみると、「新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛をしているから」の割合が全ての性・年代において最も高く、特に女性の層ではいずれの年代も7割以上を占めている。その他の理由をみると、男女ともに20代～50代は「経済的余裕がない」をあげる割合が高く、各層で3割前後となっている。また、男性50代以下及び女性20代以下の層では「時間的余裕がない」の割合も高い。一方、高齢層では、男女とも70歳以上で「健康上の理由で」、女性50・60代では「家を離れられない事情があった」の割合が他の層に比べ高い。

昨年度調査と比較すると、いずれの項目でも減少しており、今年度調査においては新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きなものであったことがわかる。

図表2-8: 宿泊観光旅行をしなかった理由の比較



※ TOTALよりも95%以上の水準で有意に高い

※ TOTALよりも95%以上の水準で有意に低い

※ ベース: 宿泊観光旅行をしていない人

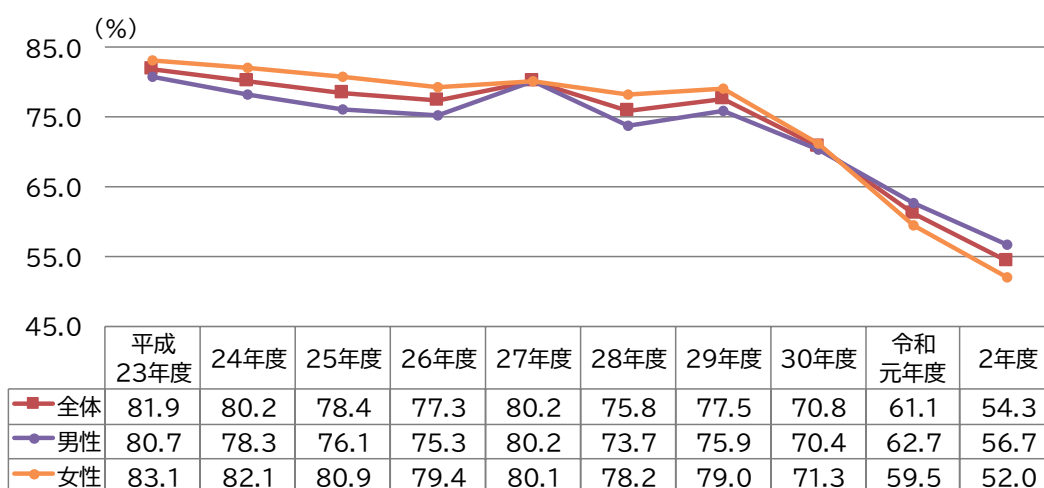
※ 今回の選択肢

Data 6 宿泊観光旅行への参加希望率

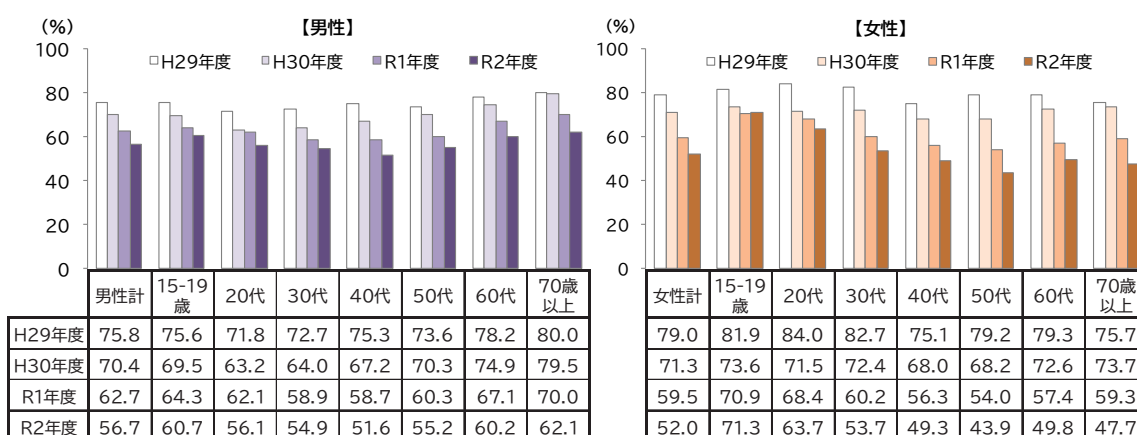
宿泊観光旅行への参加希望率は、昨年度に比べて6.8ポイント減少し、54.3%となっている。

性・年代別にみると、女性15-19歳を除いたすべての層で昨年度より減少しており、特に女性の50代と70歳以上では10ポイント以上の大幅な減少となっている。今後の宿泊観光旅行への参加希望という点でも、新型コロナウイルスの影響が現れていると推察される。

図表2-9: 宿泊観光旅行参加希望率の推移(全体/性別)



図表2-10: 宿泊観光旅行参加希望率の推移(性・年代別)





公益社団法人 **日本観光振興協会**
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION